

## 地域の会 検証委員会の発表に対する質問・意見

日付 : 2023年1月16日

氏名 宮崎孝司

### 質問

1. 県知事は「3つの検証がされるまで再稼働の議論はしない」と表明してきたが、知事は「検証の終了」を何をもって確認するのか。
2. 検証委員会でまとめられた課題は解決策が示されるものと考えているが、誰が、いつまでに示すのか。  
次期については、当然、課題の内容によるから、ある日をもって区切ることは考えないが、知事が原発の再稼働の是非を表明する前に示すと理解してよいか。
3. 避難委員会の「検証結果2：被ばく、シュミレーション等に関する考え方」（9）「一般公衆の避難・防護措置における線量」と～「・・・避難計画の実効性に関する本委員会の議論」に関連して質問する。  
緊急時の被ばく線量について2つの意見があり、避難計画の実効性に関しては3つの意見になったとある。（P106）  
委員会として1本化は出来ず、併記した状態だ。しかし、避難計画は1本にしなければならない。
  - ① 現行の県の避難計画は、どの意見に立って作成されたのか。
  - ② 現行の県の避難計画では、複合災害時、PAZ住民も屋内退避することになっている。交通可能になって避難するとあるが、被ばく線量について触れていない。交通状態だけで無く、屋外の放射線量との関係で避難行動が決まるのではないか。  
現行の避難計画に被ばく線量と避難行動について追加する考えはあるか。
  - ③ 検証委員会が緊急時の被ばく線量について議論し、課題だとしたことは、現行の避難計画は緊急時の被ばく線量について、明確にして作成されていないと判断したことになる。  
②の被ばく線量を踏まえた避難計画が示されたとしても、避難住民が了解しなければ、避難計画ができたことにならない。  
避難計画の住民了解をどのように求めるのか。

以上